

農学者田中稔資料目録

太田原慶子⁽¹⁾

Research Collection of the Agriculturist, Minoru Tanaka

OTAHARA Keiko

キーワード: 冷害研究 藤坂5号 凶作防止試験地 青森県農業試験場

はじめに

平成30年度、青森県立郷土館では、地方独立行政法人青森県産業技術センター農林総合研究所藤坂稲作部の冷害研究資料館内で保管及び展示していた資料の一部を受け入れ、整理作業を進めてきた。資料の内容は、試験地内での作業や十和田市周辺の農家で使用された農具や民具の他、冷害に強いイネ「藤坂5号」を開発し、青森県農業試験場長等を務め、長年農業技術の研究と指導にあたった農学者田中稔（たなかみのる・1902～1993年・山形県出身）関連資料である。

今年度開催した特別展「ひらく・つくる・みのるー青森の湿地と稲作のはなしー」で、藤坂5号誕生にまつわる記録報告書類とその開発研究に挑んだ田中の仕事について、資料の一部を紹介した⁽²⁾。

受け入れた資料の大部分は、田中が手元に残していたものである。著書文献類約200点、自筆ノート・原稿下書きメモ類一式約100点に及ぶ（原稿メモ類については、一つの論文報告類としてまとめることができるものを一式とした）。

本資料群は、本県の戦前から戦後にかけての農業史、社会史において貴重であり、今後様々な角度からの研究し活用すべきものである。これまでに整理を終えた資料の一覧（44-48頁）と彼の農業研究に捧げた生涯を知る上で興味深い資料を紹介したい。



展示状況「稲をつくるー品種や技術の改良に携わった先人」コーナー

秋田農事試験場時代の随想「宇宙の大精神」

田中は、明治35（1902）年東京で生まれた。父秀穂は、山形県の農家の出身だが、働きながら上京し教師になった。その後、中国、そして朝鮮半島で開拓に従事したが、田中が10歳の時に亡くなっている。そのため、姉妹とともに父の故郷で育った⁽³⁾。

山形県東村山郡高橋村高等小学校を経て、県立村山農学校に進む。大正13（1924）年には、三重高等農林学校（現三重大学）に進学し、動物遺伝学を専攻した。昭和2（1927）年に卒業、人口食糧問題調査会に就職したが、同4年、秋田県農事試験場でイネ（陸稲）の品種改良に取り組むことになった。

青森県赴任直前に書いた「宇宙の大精神」⁽⁴⁾では、彼の自然に対する崇高な思いが格調高く熱く語られている。「…兎も角も生の脈動に波打ち無盡の変化をなす自然の悠久なる姿をみると、其処に宇宙と言ひ自然と言ふ生体を感じ得る。月に憧れ、天に歎き、大地に謝する自然と人との麗しき応接も故ありと言ふべきである」。後年、人に請われる度に揮毫した「稲五訓」を思い起こさせる⁽⁵⁾。



「宇宙の大精神」掲載の『課報 第八号』

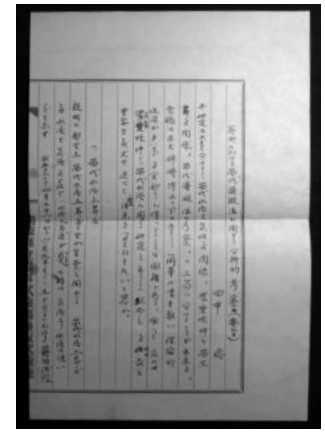
「寒地に於ける苗代灌漑法の分析的考察」ー冷害研究の始まり

昭和10（1935）年、東北地方各県に農林省指定凶作防止試験地が設置された。現在の十和田市相坂に設置された藤坂試験地に技手として赴任した田中は、さっそく冷害対策にとりかかる。まず、冷害の原因究明を進めた。地道な実験作業と研究が続けられたことが野帳などの記録類からうかがえる。昭和10年代、試験地の実験施設が十分整備

（1）青森県立郷土館 主任学芸主査（〒030-0802 青森市本町2丁目8-14）

されていない中で、何をすべきか若い研究者は思い悩むが、自然環境を利用した独創的な実験を思いつく。それは、試験地周辺に豊富にわき出る冷水と太平洋側から吹く冷たい風「ヤマセ」を利用した実験だった。

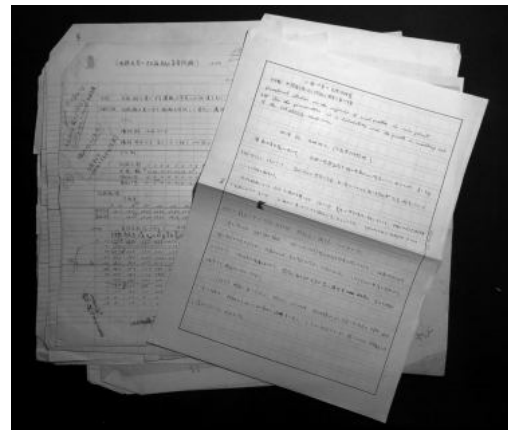
昭和 11 年、12 年の実験観察記録からまとめられたのが「寒地に於ける苗代灌漑法の分析的考察」(13 年)であり、『青森県立農事試験場彙報第 15 号』として刊行された(資料番号 43)。この考察のために作成されたメモや図表類の下書きがある(資料番号 38)。観測記録などを何度となく清書し、見直した痕跡がある。これが田中の冷害研究の基礎となり、耐冷性品種開発の出発点となった。当時の研究状況を振り返って、彼は次のように語っている。「(試験地) 発足当時は、冷害がどうして起きるのか、耐冷性品種はどういう特性をもっているのか、耐冷性品種は一体あるのかさえわからなかったの、耐冷性品種の育成に自信をもつまでにはかなりの長い年月を費やした。」(「発刊のことば」『創立 30 周年記念試験研究業績集』1966 年)



田中自筆の「寒地に於ける苗代灌漑法の分析的考察」(要旨)・資料番号 38

藤坂 5 号開発関連資料

田中は、昭和 13 (1938) 年に試験地主任、同 27 (1952) 年には、県試験場長になる。その間も、冷水とイネの生育についての実験研究は続けられ、着実に成果をまとめている(「冷水の水稻生育に及ぼす影響に就いて」・「水稻冷害の防止と増産法」他)。同 16 (1941) 年も厳しい冷害に見舞われたが、藤坂試験地で初めて耐冷性のある品種が稔る。翌年「藤坂 1 号」として県の奨励品種に採用された。その後、戦争激化とともに物資不足、職員や作業に携わる人々の出征などによる労働力不足の困難に直面する。他の試験地での実験が見送られる状況でも、藤坂試験地で田中らの研究は中断することなく続けられた。その努力は、昭和 21 年の「藤坂 2 号」育成、同 24 年の「藤坂 5 号」誕生へと結びついた(「水稻藤坂一号から五号までの特性概要」・資料番号 47 他)。



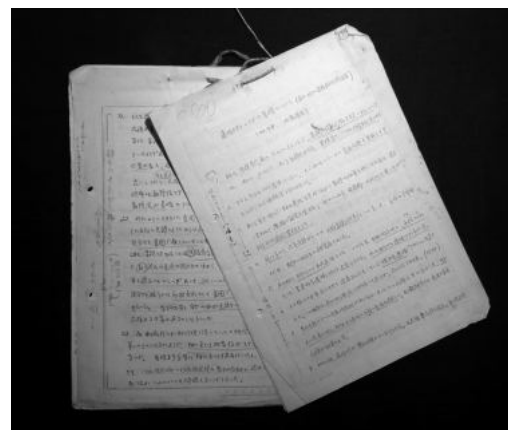
農学賞受賞前第 26 回農学会では「水稻冷害の実験的研究」を発表している。下書き原稿(昭和 30 年)資料番号 31

はじめ「ふ系 20 号」と呼ばれていた藤坂 5 号は、県内作付面積を順調に伸ばし、同 27 年には 1 万ヘクタールを超えた。記念祝賀会が開かれ、記念品として扇子も配られた(資料番号 286)。

田中は、藤坂 5 号をはじめとする水稻の耐冷性品種の育成により、内閣総理大臣賞(28 年)、河北新聞社賞、三重大学学長表彰(29 年)、日本農学賞(40 年、受賞論文要旨、資料番号 15)等の表彰を受けた。

自筆ノートー農家のための研究

農家に役立つための研究を心がけ、農業技術の向上を目指した田中は、県内、国内だけでなく、中国でも稲作技術指導にあたった。講演会や研修会の講師として招かれ、稲作及び畑作についての知識や技術を紹介している。講演会の内容も細かくノートに記録している(資料番号 24・25)。水稻冷害の他、昭和 30 年代に県農業試験場で実験が行われ奨励された「深層追肥」方法の内容と必要性についても、何度も講演し、テキストを書くなどその普及に取り組んだ。イネの生育を見ながら地表よりやや深く追肥するという方法は、より頑丈で健康なイネを作ることができる。イネを見てイネから学ぶという姿勢は、田中の試験地時代の苦労から生まれたものである。一つの穂、一つの花について丹念に見る、イネから学び取るという研究者としての姿勢が浮かびあがってくる。



自筆原稿「藤坂五号とトワダの育種について」欄外に。「イネからイネの真の声をきく」とある。資料番号 226

おわりに

多くの原稿下書き資料の中に、田中自身が綴った「落葉集」と題した綴りがある。昭和 13 (1938) 年から 24 年頃の出張調査記録、新聞発表原稿の下書き、各種研修会での挨拶発表原稿、参考研究文献の覚え書きなどが綴じられている(資料番号 292～314)。記録用紙でさえも不足する中で、懸命に実験を続け、得た成果を農家に向け発信していた若い研究者の姿がそこにはある。

厳しい自然環境を逆手にとって実地での研究を積み重ねた彼は、後の農学賞受賞時に次のように語った。長い間取り組んできた耐冷性品種育成の研究は「多くの冷害実験が、室内恒温の下で行われたのに対し、（藤坂では）戸外の自然条件下で実施された。…従って本研究で得られた成果は、ただちに実際の場面に適用できる。」（第40回農学賞受賞論文要旨、資料番号15）。「農家の喜びを喜びとする試験場でありたい」⁽³⁾と試験場長になり、退任後も長く本県の農業発展のため尽力した功績は大きい。彼が残した資料について、昭和期の本県農業史社会史研究においても活用を進めたい。



昭和13～24年の資料を綴った「落葉集」

註

- (2) 令和元(2019)年9月12日～11月4日開催。展示図録『ひらく・つくる・みのるー青森の湿地と稲作のはなし』53～56頁
- (3) 田中稔『北の稲と40年』(陸奥新報に昭和40年から138回にわたって連載した「私の歩んだ道」をもとにした自伝)
- (4) 「課報」第8号 秋田県農務課 4頁 昭和10年(1935)
- (5) 彼のイネに対する思いがよく表されている。
 - 一 稲は命の根なり 湿める^し芦原を拓きて 日の本にその歩を印し 豊芦原瑞穂国の礎となる
 - 二 稲は命の根なり 雨多きモンスーン地帯に 健かにその根を伸ばし 狭き国土に数多の人を養う
 - 三 稲は命の根なり 熱帯の生い立ちなれど 不良環境を克服して 今は寒きところにもよく育つ
 - 四 稲は命の根なり 五穀の王者として生まれ 食味すぐれ栄養にとみ あたかも貨幣の如く通用す
 - 五 稲は命の根なり 天地の恵み豊かにうけ 人の慈しみに応えて 人類の貴重な食糧を生む

参考文献

- 田中稔 『北の稲と40年』家の光協会 1968年
- 『創立30周年記念試験研究業績集』青森県農業試験場藤坂支場 1966年
- 『青森県農業試験場六十年史』青森県農業試験場 1959年
- 『青森県農業試験場八十年史』青森県農業試験場 1979年
- 『地方独立行政法人青森県産業技術センター農林総合研究所 藤坂稲作部 八十四年の歩み』2019年
- 青森県農業試験場編『北国のイネを育てた男』田中稔稲作顕彰会 1995年
- 『青森二十世紀の群像』東奥日報社 2000年
- 「ルポ・ふるさと人物考 田中稔」季刊・あおり草子 海と野の味覚／第6号 1980年
- 「特集 耕す」隔月刊・あおり草子 青森の米 耕す／通巻143号 2002年
- 山形敏英編『冷害稲作への挑戦者ー偉大な農学者 田中稔氏の業績ー』みちのく歴史人物資料館 2004年

青森県立郷土館所蔵 田中稔資料一覧（登録番号 2433-7）

資料番号は、郷土館収蔵資料番号 2433-7- 以下の末尾番号である

■著書

書名	備考	発行(年)	西暦(年)	発行	大きさ他	資料番号
『寒地稲作増収技術』	函入り、鉛筆による書き込み（誤植訂正）あり	昭和 28	1953	富民社	574 頁、18.5 cm	1
『稲の冷害』	第一刷、鉛筆による傍線、書き込みあり、付箋はさみこみあり	昭和 57	1982	農山漁村文化協会	266 頁、18 cm	2
『稲作技術』	第一刷	昭和 48	1973	農山漁村文化協会	254 頁、18 cm	3
『畑作農法の原理』	第二刷	昭和 51	1976	農山漁村文化協会	206 頁、18 cm	4
『これからの稲作技術 深層追肥の基本』	第一版、表紙カバーにペンで「著者用」、鉛筆による書き込みあり、付箋挟み込みあり	昭和 54	1979	家の光協会	158 頁、21.5 cm	5
『アメリカ農業の印象』	非売品、扉に万年筆で「謹呈 田中稔」	昭和 46	1971	第 2 回アメリカ農業視察団事務局	126 頁、21 cm	6
『冷害 vs 農業』		昭和 56	1981	大和出版社	256 頁、19 cm	7
『増補深層追肥稲作 稲をみて稲をつくる』		昭和 51	1976	富民協会	218 頁、18.5 cm	8
『随想 農業近代化への歩み』		昭和 44	1969	農業図書株式会社	254 頁、21 cm	9
農民叢書（第 58 号）『畑地の輪作』		昭和 25	1950	農業技術協会	42 頁、18 cm	51
『北國のイネを育てた男―田中稔氏の足跡を辿って―』	青森県農業試験場編、函入り、田中の業績及び関係者による思い出ほか	平成 7	1995	田中稔稲作顕彰会	136 頁、26 cm	10

■論文等掲載誌

誌名	掲載文名、資料の状態等	発行(年)	西暦(年)	編集 / 発行	大きさ他	資料番号
課報 第八号	「宇宙の大精神」掲載	昭和 10	1935	秋田県農務課	33 頁、22 cm	53
東北農業研究 30 年 東北農業試験研究協議会 30 周年記念誌	「東北における稲作研究の発展」 56 ～ 60 頁	昭和 62	1987	東北農業試験研究協議会	68 頁、25.6 cm	21
農業改良 第 8 号	「第 1 章 冷害の歴史」鉛筆による書き込みあり、表紙に田中のサインあり	昭和 33	1958	農林省振興局	105 頁、26.8 cm	23
『米作増産の策』	(米作増産座談会)	昭和 17	1942	青森県評論社	48 頁、21 cm	154-1
『米作増産の策』	(米作増産座談会)、表紙に田中の印	昭和 17	1942	青森県評論社	48 頁、21 cm	154-2
東北農業新報 第 2 巻第 4・5 号	「東北地方に適する畑作物と栽培諸条件」	昭和 23	1948	東北農業新報社	31 頁、26 cm	175
営農東北 第 3 号	「東北の畑地輪作とその改善」	昭和 28	1953	東北農業経営研究会	38 頁、26 cm	176
農業時代 第 60 号	「寒地稲作の発展過程と機械化」	昭和 39	1964	日本曹達株式会社	32 頁、26 cm	177
技術と普及 第 13 巻第 3 号（通巻 152 号）	「安定多収をめざす稲作技術のありかた」	昭和 51	1976	全国農業改良普及協会	114 頁、26 cm	178
農業富民 第 50 巻第 12 号	「随想 北の稲を育てて」	昭和 53	1978	富民協会	142 頁、26 cm	179
水稻冷害凶作の推移 凶作と種籾の選び方		昭和 28	1953	青森県経済部	13 頁、25 cm	180
農業富民 第 40 巻第 1 号	「特集 水稻人気品種の魅力をさぐる「フジミノリ」	昭和 43	1968		176 頁、21 cm	181
米麦改良（4 月号）	非売品、「深層追肥による水稻五石とり」	昭和 42	1967	全国米麦改良協会	96 頁、21 cm	182
これからの農業技術	非売品、「稲の作り方」	昭和 39	1964	弘前相互銀行	61 頁、21 cm	183
青森県評論 巻月号 第 23 巻第 1 号 通巻 242 号	「稲作と畑作の今後の問題」	昭和 34	1959	青森県評論社	24 頁、21 cm	184
青森県評論 拾巻月号 第 15 巻第 11 号 通巻 167 号	「本年の稲作」	昭和 27	1952	青森県評論社	24 頁、21 cm	185
青森県評論 六月号 第 17 巻第 6 号 通巻 186 号	「本年これからの稲作管理」	昭和 29	1954	青森県評論社	24 頁、21 cm	186
農業と文化 五月号 第 70 号	「寒地稲作増収の狙い」	昭和 30	1955	農村文化協会	100 頁、21 cm	187
朝日ジャーナル 22-44	「列島診断 未曾有の大冷害に直面して」、傍線、書き込みあり（ボールペン）	昭和 55	1980	朝日新聞社	118 頁、26 cm	188
昭和 51 年度農林水産業研究成果発表会 発表要旨	「特別講演 北の稲を見つめて」	昭和 51	1976		28 頁、26 cm	189
『稲の生理と施肥』		昭和 47	1972	青森県経済連技術普及室	6 頁、26 cm	190
東北稲作の将来	東北 6 県新聞論説責任者会資料	昭和 40	1965		B5 用紙 3 枚	191
県政のあゆみ 18 号（凶作特集号）	「凶作と種籾の選び方」22 ～ 29 頁	昭和 28	1953	青森県広報文書課	48 頁、26.5 cm	273

■自筆原稿

論文タイトル等	内容、資料の状態	年代 1	年代 2	発行元他	大きさ他	資料番号
自筆原稿「水稻冷害の実験的研究」第 14 報 要約 / 第 26 回日本農学会大会プログラム	発表原稿下書き、メモ類含む	昭和 30	1955			31
田中稔稲作顕彰会発会式資料／挨拶原稿	田中稔稲作顕彰会発会式しおり他	昭和 56	1981			32
自筆原稿「お祝いのことば（片山京一氏の稲作改良）」	第 7 回田中稔受賞者へのお祝いの言葉、片山氏からの書簡含む	昭和 62	1987			35
自筆原稿「勲四等授賞祝賀会に出席して」	原稿用紙、ボールペン	昭和 50	1975			37
自筆原稿「寒地に於ける苗代灌漑法の分析的考察」	青森県立農事試験場彙報第 15 号掲載／下書きメモ類、封筒入り、自筆論文要旨含む（罫紙利用）／2019 年特別展展示	昭和 13	1938			38
自筆原稿「冷水の水稻稲作に及ぼす影響（第 3 報）」	農業及園芸第 18 巻第 6 号掲載／下書き原稿（原稿用紙）、メモ類（付表、付図）	昭和 18	1943			39
自筆原稿「水のかけひき（二、寒地）」	原稿用紙（朝倉書店専用）、図表、万年筆、朱書きあり	昭和 28	1953			204
自筆原稿「水のかけひき」	レポート用紙、鉛筆					205
自筆原稿「水のかけひき」教育テレビ	レポート用紙、鉛筆					206
自筆原稿「上手な水管理」NHK 放送局（40. 3. 29 教育テレビ）	青森県農業試験場罫紙使用	昭和 40	1965			207
自筆メモ類（1981 年冷害関係資料）	1981 年冷害関係 気温と草丈、茎数／封筒入り	昭和 56	1981			208
農事講習会資料「良質米の多収技術」	尾上町公民館での講習会資料、書き込みあり	昭和 48	1973			209
自筆原稿「昭和をふりかえって」	レポート用紙、鉛筆					210
自筆原稿「正しく前向きの姿勢で前進を」（新潟ひろばテレビセミナー）	レポート用紙、鉛筆、朱書き	昭和 57	1982			211
自筆原稿「北の稲に想う 最近の冷害は人災か」	NHK 趣味の園芸原稿用紙 10 枚、鉛筆					212
自筆原稿「雑穀を見直そう」	ボールペン、原稿用紙（S52. 3. 26）、講演原稿	昭和 52	1977			215
自筆原稿「冷害の諸相」	原稿用紙、鉛筆、400 字 8 枚	昭和 57	1982			216

自筆原稿「健苗と早期多収」	原稿用紙、鉛筆、400字15枚	昭和54	1979		217
自筆原稿「青森県における水稲品種の改良変遷と経済的効果」他	『青森県農業試験場60年史』所収 原稿	昭和34	1959		218
自筆原稿「水稲出穂遅延に関する研究 第一報」	原稿用紙	昭和23	1848		219
自筆原稿「水稲冷害の実際研究 第二報」					220
自筆原稿「寒地における水田裏作青刈りライ麦の効果と作り方」他	藤坂試験地野紙				221
自筆原稿「水稲冷害の実際研究」第4報	下書き、メモ				222
自筆原稿「深層追肥稲作の基本」	原稿用紙、ボールペン				223
自筆原稿「東北における稲作研究の発展－稲作研究のあり方について－」	レポート用紙、ボールペン	昭和52	1977		224
自筆原稿「揺らぐコメ、生きる道の討論会」	原稿用紙、ボールペン				225
自筆原稿「藤坂五号とトワダの育種について」	(東北地方の育種現地検討会) 原稿用紙、鉛筆、朱書き	昭和40	1965		226
自筆原稿「青森県の稲作の発展と深層追肥」講演原稿	原稿用紙、ボールペン、				227
自筆原稿「冷害に負けるな」	青森県農事懇談会原稿用紙、書きかけ、ボールペン				228
自筆原稿「上海市における日中両国の稲作実験」	レポート用紙、鉛筆				229
自筆原稿「冷害に強い稲作を」	レポート用紙、ボールペン				230
自筆原稿「耐冷性品種育成の苦心」	原稿用紙、ボールペン、				231
自筆原稿「特別講演 北の稲を見つめて－水稲の耐冷性品種の育成－」	(昭和51年度農林水産業研究発表会) 原稿用紙、ボールペン、	昭和51	1976		232
自筆原稿「青森県稲作の反省点」	原稿用紙、ボールペン				233
自筆原稿「中国吉林省における日本稲作」	原稿用紙、ボールペン				234
自筆原稿「東北地方における稲作研究の発展」	レポート用紙、ボールペン				235
自筆原稿「畑作農業の原理」	レポート用紙、ボールペン				236
自筆原稿「東北の稲作と技術」	原稿用紙、鉛筆				237
自筆原稿「水稲品種とその栽培」	原稿用紙、鉛筆				238
自筆原稿「冷害防止から見た水稲品種」	原稿用紙、万年筆、				239
自筆原稿「日中の稲作を較べてみて」	原稿用紙、ボールペン				240
自筆原稿「輪作に関する研究」	鉛筆、青森県農業試験場藤坂試験地野紙、講演原稿				242
自筆原稿「水稲開花に及ぼす気象要素の一考察 第6報」	藤坂試験地野紙、鉛筆	昭和26	1951		243
秋田県立農事試験場原稿	自筆の講演原稿、昭和4年度・7年度実施事業報告ほか	昭和4	1929		255
著述履歴書(自筆)	昭和2～22年までの著述歴	昭和22	1947		256
自筆原稿「寒寒冷地の麦及びライ麦の限界条件」	農業及び園芸 23巻1号依頼文書				257
自筆下書きメモ「水稲冷害の実際研究」第10報	「開花からみた登熟」、「出穂からみた登熟」資料メモ類	昭和26	1951		279
自筆下書きメモ「出穂遅延に関する研究」第2報					280
自筆下書きメモ「水稲出穂遅延に関する研究」第3報	レポート用紙				281
自筆下書きメモ「水稲冷害の実際研究」第11報、第12報	原稿用紙、藤坂試験地野紙、青森県農事試験場野紙				282
自筆下書きメモ「水稲冷害の実際研究」第9報	レポート用紙				283
自筆下書きメモ「開花と稔実に関する調査」	付図、下書き、記録	昭和20	1945		284

■自筆ノート、新聞スクラップ

資料	内容、資料の状態	年代1	年代2	発行元他	大きさ他	資料番号
自筆ノート 農業講演 72.8～75.3 田中稔	農業講演録(72年8月～75年3月)、大鰐町での講演記録ほか(深層追肥の長所と優位性)	昭和47～	1972			24
自筆ノート 農事講演 76.6～1977	農事講演録 76年6月～77年、深層追肥稲作、畑作、水稲冷害についての講演記録内容	昭和51～	1976			25
自筆ノート Rice IX(2) 65年4月 北海道の冷害	天候についての過去比較統計文献からのデータ考察抜粋し、メモ・考察を記入	昭和40	1965			26
ノート 執筆新聞記事スクラップ「私の歩んだ道(Ⅱ)」	私の歩んだ道 78～138 陸奥新報掲載記事、加筆訂正箇所あり	昭和42	1967			28
ノート 新聞(私に関係する記事)スクラップ	東奥賞、ほか(昭和41年2月から)	昭和41	1966			27
自筆ノート 稲作 Vol 3 1959.8～	各種新聞論文報告からの写し、覚書、	昭和34	1959			29
ノート 冷害に関する新聞切抜帖	1953年8月～10月冷害に関する記事	昭和28	1953			30
自筆ノート 昭和49年の中国旅行	1974年3月10日～4月1日記録	昭和49	1974			266
自筆ノート 1974 中国旅行	中国農業をみて、他	昭和49	1974			267
自筆ノート 1973? 3/11～3/31		昭和48	1973			268
自筆ノート 中国旅行 昭和50年	1975年7月21日～8月12日 ／日本中国農業農民交流協会科学技術交流代表訪中団／団長挨拶原稿含む	昭和50	1975			269
自筆ノート 1981 訪中概要	1981年7月9日～8月2日の記録、ほか1882年3月29日会議録	昭和56	1981			270
自筆ノート 1981 7.9～8.3		昭和56	1981			271
自筆ノート 上海における打ち合わせ	1983年4月7日、9月20日～22日の記録	昭和58	1983		B6判	272
新聞記事スクラップ	新聞記事(昭和54・55年)	昭和54	1979			289
新聞記事スクラップ	新聞記事(昭和55年10～12月)	昭和55	1980			290
新聞記事スクラップ	新聞記事(昭和55年)	昭和55	1980			291

■その他資料

資料名	資料内容、状態	年代1	年代2	発行元他	大きさ他	資料番号
水稲藤坂一号から五号までの特性概要(第二版)		昭和26	1951	青森県農業試験場藤坂試験地	16頁、18cm	45
水稲藤坂一号から五号までの特性概要(第二版)	表紙に「田中」印、裏表紙にペンによる書き込み、2,3,5頁に書き込み	昭和26	1951	青森県農業試験場藤坂試験地	16頁、18.5cm	46
水稲藤坂一号から五号までの特性概要	1,4頁に書き込み	昭和25	1950	農林省黒石農事改良実験所藤坂試験地	8頁、18.5cm	47

水稲藤坂一号二就テ	4,5,9 頁に鉛筆による書き込み	昭和 19	1944	青森県立農事試験場	16 頁、25.5 cm	48
水稲育成品種の特性概要（第三版）	「水稲藤坂一号から五号までの特性概要」の表題変更	昭和 27	1952	青森県農業試験場藤坂試験地	16 頁、18.5 cm	49
水稲藤坂五号一万町歩普及記念 試験地案内	表紙にシミあり	昭和 27	1952	青森県農業試験場藤坂試験地	6 頁、17.3 cm	50
昭和 40 年度日本農学賞授賞論文要旨	「水稲の冷水被害並びに出穂遅延障害に関する研究」4-7 頁	昭和 40	1965	日本農学会	32 頁、26.5 cm	15
4-6 米づくり運動講演会テキスト（プログラム）	講演要旨（米づくりの課題と高位多収穫、田中稔）	昭和 42	1967	青森県	27 頁、24 cm	17
「第 3 回田中稔賞 贈呈式のしおり」	第 3 回田中稔賞贈呈式しおり	昭和 58	1983			33
「第 4 回田中稔賞 贈呈式のしおり」	第 4 回田中稔賞贈呈式しおり	昭和 59	1984			34
創立 80 周年記念式典しおり 青森県農業試験場	ボールペンによる書き込み	昭和 56	1981			36
『試験研究概報（1）』	水稲冷害の実験的研究（4、5 報）、 水稲における自然的倒伏現象の一考察、畑作 輪作に関する研究、書き込み多数	昭和 26	1951	青森県農業試験場		98
43 移動農大テキスト③水稲 近代稲作のあり方		昭和 43	1965			192
青森県米づくり運動米づくりシリーズ 2 号 4-6 米づくり運動講演会テキスト	書き込み多数、表紙に田中のサインあり	昭和 42	1967			193
昭和 40 年度 青森県移動農業大学テキスト（水稲栽培）	書き込み多数、表紙に田中のサインあり	昭和 40	1965	青森県		194
41 移動農大テキスト 耕種一般		昭和 41	1966			195
41 移動農大テキスト 水稲		昭和 41	1966			196
42 移動農大テキスト 水稲（青森県の米 作の歴史と今後の問題点）		昭和 42	1967			197
昭和 42 年度青森市冬期農業講座テキスト		昭和 42	1967	青森市		198
第 1 回農業大学テキスト	総論（田中）	昭和 30	1955	青森県農事懇談会		199
夏季農業大学参考資料 最近の稲作技術	表紙に田中の印、書き込み多数	昭和 30	1955	青森県農事懇談会		200
第 4 回農業大学テキスト	書き込み多数	昭和 31	1956	青森県農事懇談会		201
第 5 回農業大学テキスト	表紙に田中の印	昭和 32	1957	青森県農事懇談会		202
農業大学講座テキスト		昭和 34	1959	黒石市 青森県農事懇談会		203
寒地稲作について 藤坂試験地 田中技師	農事指導者講習会資料、書き込み多数あり	昭和 15	1940			241
「農業研究のあり方についての私見」	昭和 34 年 3 月 17 日、書き込み多数、会議資料か	昭和 34	1959			244
青森県農業試験場編『稲作読本一』	第七版（改訂）	昭和 35	1960	青森県農事懇談会	74 頁、21 cm	258
青森県農事試験場編『稲作読本一』	メモ挟み込み（こしの稲作を顧みて 田中稔）、表紙にサイン	昭和 31	1956	青森県農事懇談会	74 頁、21 cm	259
青森県農業試験場編『稲作読本二』	第三版（改訂）	昭和 35	1960	青森県農事懇談会	64 頁、21 cm	260
青森県農業試験場編『稲作読本三』	第一版、鉛筆による書き込み多数	昭和 36	1961	青森県農事懇談会	72 頁、21 cm	261
青森県農事懇談会編『水稲冷害とその防ぎ方』	第三版	昭和 44	1969	青森県農事懇談会	22 頁、21 cm	262
水稲奨励品種虎の巻	鉛筆の書き込みあり	昭和 28	1953	青森県農事試験場	20 頁、17.7 cm	263
水稲品種の特性解説	鉛筆の書き込みあり	昭和 41	1966	青森県農事懇談会	14 頁、20.5 cm	264
冷害防止からみた水稲品種	日本作物学会第 140 回講演会シンポジウム発表資料	昭和 40	1965			265
水稲新品種決定に関する参考成績書（ふ系二〇号）	ふ系二〇号（のちの藤坂五号）、2019 年特別展展示					274
水稲新品種決定に関する参考成績書（ふ系 一八号一九号）		昭和 23	1948	農林省黒石農事改良実 験所藤坂試験地	25 × 17.8 cm、全 21 頁	275
昭和 22 年度 配付予定水稲優良系統成績 書（水稲 ふ系二〇号）	ふ系二〇号（のちの藤坂五号）、2019 年 特別展展示	昭和 22	1947	藤坂試験地		276
昭和 17 年 8 月 農林省指定凶作防止試験地水 稲新品種決定二関スル参考成績書	ふ系 3 号（のちの藤坂一号）	昭和 17	1942	青森県立農事試験場 藤坂試験地		277
耐冷性水稲品種育成の諸問題	育種談話会（1952 年 2 月 23 日）資料	昭和 27	1952			278
書「稲五訓」	額装、鉛筆による下書きあり／2019 年特別展展示	不明			タテ45cm、ヨコ83cm	285
藤坂五号普及記念 扇子	県内 1 万ヘクタール普及記念の式典で出席 者に配られた記念品／2019 年特別展展示	昭和 27	1952		23 cm	286
「最新の稲作技術」	農業近代化大講演会、山形県東根市	昭和 42	1967			132
「稲に施肥適量を聞く」	青森県稲作経営者会議、農業技術	昭和 50	1975		10 頁、26 cm	134
『深層追肥と正しい知識とコツ』		昭和 49	1974	青森県農業会議	4 頁、18 cm	135
「こしの稲作とその問題点」	B 4 用紙 4 枚、	昭和 32	1957			164
農林省指定凶作防止試験藤坂試験地案内	書き込みあり	昭和 21	1946		4 頁、20 cm	287
テレビ・ラジオ台本	NHK「明るい農村」（昭和 59 年 9 月放送）／東北金曜特集「冷 害はまたやってくる」（昭和 58 年 4 月放送）他	昭和 58 59	1983 1984			288

■「落葉集」綴

資料名	資料内容	年代 1	年代 2		資料 番号
稲作協議のための出張復命ほか	昭和 13 年 7 月 15 日から 20 日ほか、農事試験場藤坂試験地裏紙	昭和 13～	1938～		292
田植終了後の稲作管理法・畑作の管理	昭和 16 年 6 月 18 日東奥日報所載、	昭和 16	1941		293
冷害の定義と上北地方に冷害の多い理由（田中稔）	昭和 16 年 9 月	昭和 16	1941		294
肥料の自給に青刈大豆（田中稔）	昭和 19 年 7 月 14 日、東奥日報記事	昭和 19	1944		295
育種部設置案					296
緑肥に依る畑作の増産（田中稔）	昭和 18 年 6 月 29 日、東奥日報記事	昭和 18	1943		297
藤坂試験地設立の目的					298
畑作に関する参考成績抜粋	昭和 19 年 8 月	昭和 19	1944		299
冷害に関する調査成績の概要	昭和 19 年	昭和 19	1944		300
「ライ麦」二関スル試験成績	昭和 19 年 11 月	昭和 19	1944		301
冷水灌漑地帯に於ける水口田の改善	昭和 18 年 8 月 藤坂試験地	昭和 18	1943		302
昭和二十年年度完了試験成績（五戸分場）					303
日本農業新聞（1944 年 10 月 4 日）	「正しい輪作へ」	昭和 19	1944		304
日本農業新聞（1944 年 12 月 13 日）	「播種の繰上げ、大根の採種法」「ヒエの 精白」「新燃料「草炭」登場」ほか	昭和 19	1944		305
採種適期二関スル実験成績	昭和 21 年 藤坂試験地	昭和 21	1946		306
麦・馬鈴薯作況資料	昭和 21 年 藤坂試験地、書き込み多数	昭和 21	1946		307
記念懇談会挨拶原稿	昭和 21 年 9 月 12 日	昭和 21	1946		308
堆肥と緑肥（上）（下） 日本農業新聞	昭和 20 年 2 月 10 日 /13 日、日本農業新聞記事	昭和 20	1945		309
農事試験場職員組合構成並運営図、役員名簿					310

農林省農事試験場三本木原営農支場構築案					311
黒石農事改良実験所藤坂試験地案内	昭和 22 年	昭和 22	1947		312
自筆原稿「今年の稲作設計」	昭和 24 年	昭和 24	1949		313
昭和 26 年 水田裏作耕種基準(青森県農事試験場)					314

■著作文献資料（別刷）

文献題名等	掲載誌及び資料の状態	年代 1	年代 2	発行元他	大きさ他	資料 番号
『畑作農業の在り方』		昭和 51	1976	青森県農業会議	12 頁、18 cm	11
『深層追肥稲作資料第 1 号 深層追肥稲作の基本』	12-1 / 12-2	昭和 51	1976		12 頁、21 cm	12
深層追肥稲作の再認識 1 ～ 13	農業及園芸 第 58 巻第 8 号～ 59 巻第 8 号別刷	昭和 61	1986	日本農業懇話会	61 頁、25.7 cm	13
試験研究概報（1）	水稻冷害の実験的研究 第 4 報 第 5 報、メモ自筆付表挟み込み	昭和 26	1951	青森県農業試験場藤坂試験地	28 頁 24.2 cm	14
青森県における水稻品種の変遷と品種改良	農業発達史調査会資料第 91 号(田中稔・相馬幸穂)	昭和 31	1956	農業発達史調査会	63 頁、24 cm	16
青森県農業試験場研究 60 年の回顧	青森県農業試験場長田中稔	昭和 34	1956	青森県農業試験場	54 頁、25.7 cm	18
良質米生産講習会テキスト 産米改善の急務と要諦	19-1：青森県経済連参与田中稔、書き込みあり / 19-2	昭和 46	1971	青森県経済連	15 頁、24.6 cm	19
農政の動き No. 82	昭和 55 年冷害凶作対策、指導助言者の講評（稲を見て稲をつくる技術を、田中稔）、書き込み多数	昭和 55	1980	青森県農業会議	118 頁、25 cm	20
深層追肥稲作の基本	『冷害 VS 農業』別冊 225 ～ 240 頁	昭和 56	1981	大和出版社	18.8 cm、	22
「寒冷地水稻の新研究」	40：文 2、3、9 頁に書き込みあり、表紙破れ 41：はしがきから 2 頁まで重複掲載（16 頁） / 42-1 / 42-2	昭和 23	1948	三本木原開発研究会	12 頁、18.5 cm	40
「寒地に於ける苗代灌漑法の分析的考察」	43：青森県立農事試験場彙報 第 15 号 44：表紙厚紙「苗代水温上昇度を左右する気象要素の検索」同綴 52：表紙に田中印、書き込みあり	昭和 13	1938	青森県立農事試験場	43 頁、26.5 cm	43
「苗代水温上昇度を左右する気象要素の検索」	54：日本作物学会紀事第 10 巻第 2 号抜刷、 202、203 頁に書き込み 55：同別冊、202 頁に書き込み	昭和 13	1938			54
「冷水の水稻稲作に及ぼす影響に就て」(第 1 報)	56：農業及園芸第 15 巻第 7 号別刷、62 ～ 64 頁、68 ～ 70 頁に書き込み 57：同別刷、誤植訂正あり 58：同別刷、表紙に「訂正済」、ペン・鉛 筆による書き込み多数	昭和 15	1940			56
「冷水の水稻生育に及ぼす影響に就て」(第 2 報)	59：農業及園芸第 16 巻第 3 号別刷、鉛筆 による書き込みあり / 60-1 / 60-2 / 61	昭和 16	1941			59
「冷水の水稻生育に及ぼす影響に就て」(第 3 報)	62：農業及園芸第 18 巻第 6 号別刷、表紙 タイトル手書き、書き込み多数 63：同別刷、表紙にタイトルなし、鉛筆 で「第 3 報」、破れあり	昭和 18	1943			62
「普通畑作物輪作の実益」	64-1 / 64-2：農業及園芸第 15 巻第 9 号別刷	昭和 15	1940			64
「作物並に品種の選択」	65：農業及園芸第 16 巻第 5-6 号別刷、書き込み訂 正あり、田中が綴っていたもの 66：同別冊、鉛筆による書き込みあり(91 頁加筆あり)	昭和 16	1941			65
雑穀叢書『ライ麦』	著者田中稔、表紙に田中の印、雑穀奨励会編	昭和 21	1946	産業図書株式会社	44 頁、18 cm	67
「水田水温の高低と水稻の生育収量との関係」	近藤頼己共著、ガリ版刷	昭和 27	1952	灌漑水温上昇施設研究委員会	30 頁、24.5 cm	68
東北農業研究(三本木農談会研究発表講演要旨)	水稻の登熟被害に就いて	昭和 24	1949	農林省農事試験場三本木原営農支場	67 頁、25.5 cm	69
「粳一升重より親たる凶作年次の種穀調製」	農業及園芸第 17 巻第 2 号別刷、(工藤澄志君 謹呈 著者、万年筆書きあり、メモ挟み込み) / 70：	昭和 17	1942			71
「水稻冷害の防止と増産法 1」	農業及園芸第 18 巻第 4 号別刷	昭和 18	1943			72
「水稻冷害の防止と増産法 1 ～ 4」	農業及園芸第 18 巻第 4 ～ 7 号別刷	昭和 18	1943			73
「寒地に於ける本田の灌漑法」	農業及園芸第 19 巻第 2 号別刷、書き込みあり / 75：書き込みあり	昭和 19	1944			74
「緑肥大豆に依る畑作物の増産」	農業及園芸 第 19 巻第 7 号別刷 / 76-1 / 76/2	昭和 19	1944			76
「ライ麦の栽培法 1」	農業及園芸 第 20 巻第 9 号掲載頁	昭和 20	1945			77
「麦作の限界と栽培方法」	農業及園芸 第 21 巻第 8 号掲載頁	昭和 21	1946			78
「寒高冷地の麦及びライ麦の限界条件」	農業及園芸 第 23 巻第 1 号掲載（2 頁）	昭和 23	1948			79
「大豆増収栽培の急所」	農業及園芸 第 23 巻第 4 号掲載（2 頁分、書き込みあり）	昭和 23	1948			80
「水田の水のかけひき」	農業及園芸 第 27 巻第 6 号掲載（2 頁分、書き込みあり）	昭和 27	1952			81
「暖地と寒地の稲作」	全国農民連合新聞 第 1 巻 4 号	昭和 27	1952	全国農民懇談会		82
「東北地方における水稻主要品種並に系統の対冷水性」	日本作物学会紀事第 20 巻第 1 ～ 2 号別刷	昭和 28	1953			83
「水田における野稗の被害と防除法」	農業及園芸 第 26 巻第 7 号、書き込みあり	昭和 26	1951			84
「ライ麦の水田裏作青刈効果と作り方」白戸幸雄共著	農業及園芸 第 26 巻第 10 号	昭和 26	1951			85
「東北地方における秋播燕麦の実用性」佐々木正吉共著	東北農業 第 4 巻第 5.6 号	昭和 26	1951			86
「玉蜀黍の栽培密度支配要素について」高松嘉昭共著	東北農業 第 4 巻第 5.6 号	昭和 26	1951			87
「東北地方における畑地輪作法の改善」	農業及び園芸 第 25 巻第 3 号	昭和 25	1950			88
「水稻の登熟障害に就いて」	東北農業研究、手書きのメモ挟み込み	昭和 24	1949	農林省農事試験場三本木原営農支場		89
「水稻冷害の実験的研究 第 1 報」	日本作物学会紀事 第 18 巻第 2 ～ 3 ～ 4 号	昭和 24	1949		3 頁、25 × 17.8 cm	90
「水稻冷害の実験的研究 第 3 報」	東北農業 第 4 巻第 5.6 号	昭和 26	1951			91
「水稻の出穂遅延による登熟障害」	東北農業 第 3 巻第 2 号	昭和 24	1949			92
「寒高冷地向 水稻藤坂 3、4 及 5 号」	農業及園芸 第 25 巻第 6 号	昭和 25	1950			93
「東北における畑地輪作の問題」	農学 第 3 巻第 7 号	昭和 24	1949			94
「寒地に於ける種穀比重選の重要性」	農業及園芸 第 24 巻第 2 号、鉛筆による書き込みあり	昭和 24	1949			95
「水口改善に依る水稻増産法 1」	農業及園芸 第 20 巻第 4 号	昭和 20	1945			96
「水口改善に依る水稻増産法 2」	農業及園芸 第 20 巻第 5 号	昭和 20	1945			97
「藤坂における育種をめぐって」	農業及園芸 第 40-7 号 資料「育種通信」	昭和 40	1965			99
「水稻冷害の診断とその防ぎ方」	農業及園芸 第 40 巻第 7 号、書き込みあり	昭和 40	1965			100
「中国農業に何を学ぶか」 1	農業技術 第 28 巻 8 号	昭和 49	1974			101
「中国農業に何を学ぶか」 2	農業技術 第 28 巻 10 号	昭和 49	1974			102
「中国農業の現状とわが国の農業」		昭和 49	1974			103
「アメリカ農業 10 の長所」 1 ～ 3	三回分、掲載誌不明	昭和 44	1969			104

「水稻の重要な生育調整技術」	農業及園芸 第50巻第1号、書き込みあり	昭和50	1975		105
「最近における中国の稲作」	農業及園芸 第49巻第8号、書き込みあり	昭和49	1974		106
『冷害防止からみた水稻品種』	日本作物学会第140回講演会シンポジウム要旨、書き込みあり	昭和40	1965		107
『冷害防止からみた水稻品種』	日本作物学会第140回講演会シンポジウム要旨	昭和40	1965		107
「稲收穫調製の工夫」上田順一共著	農業及園芸 第42巻第1号、書き込みあり	昭和42	1967		108
「青森県における水稻早期栽培の早期限界に関する一考察」山田幸雄共著	青森県農業試験場研究報告第5号、書き込みあり	昭和36	1961		109
「農業気象研究の重要性と課題」	農業気象 第19巻第1号	昭和37	1962		110
「水稻の多収技術と研究の方途」	日本作物学会東北支部会報第10号、書き込み多数	昭和43	1968		111
「これからの稲作研究 東北地方を中心に」	農業技術 1月号、書き込みあり	昭和44	1969		112
「水稻冷害の実験的研究 第17報」	日本作物学会 第25巻4号 書き込みあり	昭和31	1956		113
「水稻の冷水被害と出穂遅延障害の対策」	農業及園芸 第42巻第7号	昭和42	1967		114
「青森県における稲作技術」	農業技術 第21巻第7号 書き込みあり	昭和41	1966		115
「青森県における稲作改善の構想」	農業技術 第20巻第12号	昭和40	1965		116
「5石取り稲作の構想と実際（1）」	農業及園芸 第37巻第1号	昭和37	1962		117
「5石取り稲作の構想と実際（2）」	農業及園芸 第37巻第2号 書き込みあり	昭和37	1962		118
「5石取り稲作の構想と実際（3）」	農業及園芸 第37巻第3号 書き込みあり	昭和37	1962		119
「青森県における水稻品種の変遷と品種改良の効果」	『主要地帯農業生産力形成史』抜刷、相馬幸穂共著	昭和33	1958	農業総合研究所	120
「出穂遅延による水稻の開花障害 水稻冷害の実験的研究 11-13」	日本作物学会紀事第23巻第4号、和田純二共著、書き込み多数、表紙に書き込み	昭和30	1955		121
東北地方における水稻主要品種並に系統の耐冷水性 第1報	日本作物学会紀事第20巻第1～2号	昭和20	1945		122
「水田におけるトラクターの利用」	農業及園芸 第28巻第1号	昭和28	1953		123
「稲作の面から見た水温上昇の問題」	農業気象 第9巻第1号	昭和27	1952		124
「東北における水稻冷害とその防ぎかた」	農業及園芸 第29巻第6号	昭和29	1954		125
「水稻冷害とその防ぎ方」	農業及園芸 第39巻第7号	昭和39	1964		126
「中国でみた豚の発酵飼料」	畜産の研究 第28巻第10号	昭和49	1974		127
「深層追肥稲作の原理と診断」1	農業及園芸 第50巻第4号	昭和50	1975		128
「深層追肥稲作の原理と診断」2	農業及園芸 第50巻第5号	昭和50	1975		128
「東北地方における畑地輪作の問題」	農学 第3巻第7号	昭和24	1949		129
「裏作青刈ライ麦の水稻作に及ぼす影響」	青森県農事試験場研究報告第3号別刷	昭和31	1956		130
「低温時における稲作管理」		昭和40	1965	昭和電工	131
「これからの稲作研究」特別講演	北日本病害虫研究会報第20号別刷	昭和44	1969		133
「寒冷地における水稻品種の動向と選び方」	農業技術 第8巻第2号	昭和28	1953		136
「水稻新品種「オイラセ」について」	青森県農業試験場研究報告第4号	昭和30	1955		137
「水稻新品種「トワダ」について」	青森県農業試験場研究報告	昭和32	1957		138
「増産死闘録偶感」	青森県評論 第150号	昭和26	1951		139
「青森県における水稻早期栽培の早期限界に関する一考察」	青森県農業試験場研究報告第5号	昭和36	1961		109
「寒地に於ける本田の灌漑法」	農業及園芸 第19巻第2号	昭和19	1944		75
「B. 稲作の面から見た水温上昇の問題」	農業気象 第9巻第1号	昭和28	1953		140
最近における中国の稲作（1）（2）	農業及園芸 第50巻第12号、第50巻第1号	昭和51	1976		141
稲転からみた畑作改善	畑地農業	昭和53	1978		142
「水稻の重要な生育調整技術」	農業及園芸 第50巻第1号、書き込みあり	昭和50	1975		143
「水稻冷害の実験的研究 第7報」	農業気象 第9巻第2号	昭和27	1952		144
「水稻冷害の実験的研究 第6報 偏東風の性格」	東北農業 第6巻第4、5、6号	昭和26	1951		145
「主要畑作物の窒素、磷酸の施肥に対する反応」	青森県農試研究報告第4号	昭和32	1957		146
「堆肥及び石灰施用が土壌に及ぼす影響」	青森県農試研究報告	昭和33	1958		147
「深層追肥稲作の構想と考え方」	農業及園芸 第55巻第7号、朱書き、鉛筆による書き込み多数	昭和55	1980		148
「水稻の冷害防止と研究の在り方」	日作東北支部報 No.20	昭和20	1945		149
「中国とくに東北の稲作」	農業及園芸 第53巻第10号	昭和53	1978		150
「51年の水稻冷害と技術対策」	農業及園芸 第51巻第12号	昭和51	1976		151
「中国の農業」	農業技術 第29巻第8号	昭和26	1951		152
「農業講座 稲作の深層追肥研究と実際」（1～18）	農業及園芸 第44巻第7号～第45巻第4号	昭和45	1970		153
「水田地帯における機械化協業化をめぐる問題」	東北社会学会、書き込み多数	昭和43	1968		155
「青森県の米作の歴史、現状、問題点について」	NHK 青森放送会館	昭和42	1967		156
「青森県に「における稲作技術—深層追肥技術他—」	農業技術 第21巻第7号	昭和41	1966		157
「東北稲作の将来」	東北6県新聞論説責任者会資料 書き込み多数	昭和40	1965		158
「青森県における稲作改善の構想」	農業技術 第20巻第12号	昭和26	1951		159
「予想される不順天候に想う」	農業時代第68号	昭和40	1965		160
「寒地稲作の発展過程と機械化」	17～21頁分（掲載誌不明）	昭和39	1964		161
「青森県的水稻早期栽培と稲作の発展」	農業及園芸 第34巻第12号	昭和34	1959		162
「冷害地における安全多収稲作の基本」	農業及園芸 第34巻第1号	昭和34	1959		163
「青森県における水稻の早植栽培」	稲早晩期栽培と輪作 創刊号1巻1号	昭和32	1957		165
「生育日数から見た水稻品種の選択」	農業及園芸 第30巻第5号	昭和30	1955		166
「今後の稲作管理の要点と考え方」	農業及園芸 第30巻第8号	昭和31	1956		167
「水稻の冷害防止に新威力「トワダ」「オイラセ」	農業及び園芸 第31巻第3号	昭和31	1956		168
「28年度の冷害と水稻品種」	農業技術 第9巻第3号	昭和29	1954		169
「輪作に関する研究 輪作様式とその経済的考察1」	東北農業 第6巻第5号	昭和28	1953		170
「種まきはいつ 五月の畑作管理」	田園 第26号	昭和22	1947		171
「寒高冷地の麦及びライ麦の限界条件」	農業及園芸 第23巻第1号	昭和23	1948		172
「長期予報と畑作経営」	田園 第50号	昭和23	1948		173
『稲転からみた畑作改善』	畑地農業（4月号）表紙に万年筆でタイトルメモ書き、表紙やケシシ多数	昭和53	1978		174
「深層追肥稲作」農業及び園芸 別刷綴り	農業及園芸 第51巻第4号～、書き込み多数	昭和50	1975		213
「深層追肥稲作の再認識」農業及び園芸 別刷綴り	農業及園芸 第58巻第8号～、書き込み多数	昭和58	1983		214